

村岡公民館等再整備事業の進捗状況について

村岡公民館等再整備事業については、藤沢市公共施設再整備基本方針及び藤沢市公共施設再整備プランに基づき、公民館施設に地域包括支援センター等を含めた複合施設として移転による再整備を計画しており、令和2年度からは、平成31年3月に策定した「村岡公民館等再整備基本構想」の基本理念・基本方針及び詳細の整備条件等を確認したうえで、昨年9月には設計業務に着手し基本設計に取り組んできました。

今回は、基本設計業務における浸水防止対策と配置計画の検討状況及び今後の予定等について報告するものです。

1 これまでの取組について

- 令和2年 6月 子ども文教常任委員会において事業の進捗状況について報告
- 9月 村岡公民館等再整備設計業務着手
- 12月 村岡公民館等再整備に伴う地質調査着手（令和3年3月まで）
- 令和3年 1月 第12回村岡公民館再整備建設検討委員会（以下、「建設検討委員会」という。）を開催
- 2月 第13回建設検討委員会を開催
- 3月 第14回建設検討委員会を開催

2 設計業務の進捗状況について

(1) 浸水防止対策の考え方について

基本構想で提案された、ピロティ案、盛土案、盛土＋止水板案、耐水扉案、擁壁＋止水板案を、それぞれ費用対効果や施工上の課題、バリアフリー環境の確保といった視点から再検証した結果、本事業においては、1階床部分の標高を浸水想定レベル（最大：標高10.55メートル）より高く設定するとともに、基礎部分の周囲及び市道に接する部分を盛土によりかさ上げする手法により公民館施設への浸水防止を図ることが、最も効果的であるとの判断に至りました。[資料2（1）、（2）]

(2) 配置計画について

基本構想で定めた基本理念や基本方針を具現化できる施設であるか否か、また、浸水対策、建設コスト、避難場所までの動線、車両・歩行者アクセスなどの評価指標による比較検討を行い、建設検討委員会へ提案する建物配置プランを3案に絞り込みました。[資料2（3）]

3 建設検討委員会における検討状況について

第12回建設検討委員会では、前述の建物配置プラン3案を提示し、設計事務所から詳細の説明を行うとともに、委員による協議・意見交換を行いました。その結果、建設検討委員会としては、①建物南側の空地や雨天時にも活用可能なピロティが配置されており、基本構想策定時に最も時間を費やした基本理念・基本方針を最も具現化したプランであること、②想定を上回る浸水被害があった場合にも指定緊急避難場所（洪水・崖崩れ）としての機能を確保できる配置であること、③バリアフリーに配慮した構内動線が確保されていることなどの理由から、C案を基本として、配置・平面計画を成熟させていきたいとの意向が示されました。[資料2(4)]

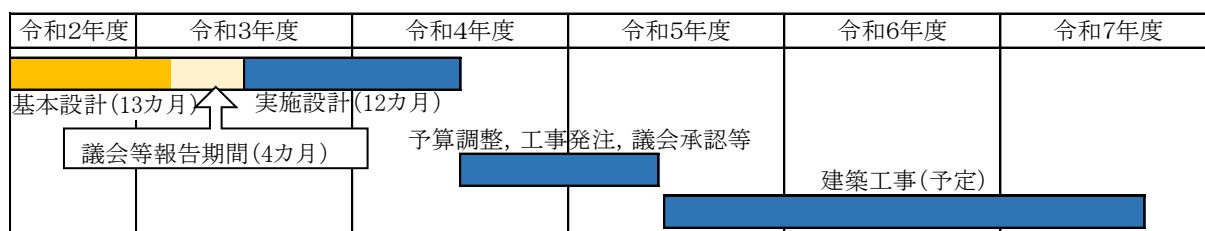
その後、第13回及び第14回建設検討委員会では、建物内の諸室配置について意見交換を行い、基本構想時に検討した諸室や機能の相関関係による配置を踏まえるとともに、既に確認している諸室面積をもとに諸室配置の検討を進めています。[資料2(5)]

4 地質調査について

昨年12月から今年3月にかけて実施した地質調査の結果、事業予定地は一部軟弱な地盤が見られましたが、概ね良好な地盤が広がっていることが確認できました。調査結果に基づく具体的な建物の基礎構造等については、実施設計の中で検討していきます。

5 今後のスケジュールについて

- 【令和3年度】 7月以降 住民説明会等開催
 9月 子ども文教常任委員会において基本設計について報告
 10月 実施設計業務着手（令和4年9月まで）



以上

【事務担当】生涯学習部 生涯学習総務課 村岡公民館